

周防大島町病院事業局ホームページリニューアル業務仕様書

I 事業概要

1 業務名

周防大島町病院事業局ホームページリニューアル業務（以下「本業務」という）

2 リニューアル公開日

令和8年3月2日（月）予定

3 対象となるWEBサイト

（1）周防大島町病院事業局

[\(https://www.kouei.so.ecomas.jp/\)](https://www.kouei.so.ecomas.jp/)

（2）周防大島町立東和病院

[\(https://www.kouei.so.ecomas.jp/facilities/towa/\)](https://www.kouei.so.ecomas.jp/facilities/towa/)

（3）周防大島町立橘医院

[\(https://www.kouei.so.ecomas.jp/facilities/tcbrn/\)](https://www.kouei.so.ecomas.jp/facilities/tcbrn/)

（4）周防大島町立大島病院

[\(https://www.kouei.so.ecomas.jp/facilities/osma/\)](https://www.kouei.so.ecomas.jp/facilities/osma/)

（5）周防大島町立介護老人保健施設さざなみ苑

[\(https://www.kouei.so.ecomas.jp/facilities/sznm/\)](https://www.kouei.so.ecomas.jp/facilities/sznm/)

（6）周防大島町立介護医療院やすらぎ苑

[\(https://www.kouei.so.ecomas.jp/facilities/ysrg/\)](https://www.kouei.so.ecomas.jp/facilities/ysrg/)

（7）周防大島町立大島看護専門学校

[\(https://www.kango.so.ecomas.jp/\)](https://www.kango.so.ecomas.jp/)

4 方針

下記の方針に基づいて本業務を実施すること。

- (ア) 各施設利用者などの利便性を高める機能を有するホームページであること。
- (イ) 利用者が必要とする情報に簡単にたどりつき、より多くの情報を提供できるホームページであること。
- (ウ) 高齢者や障がい者も利用できるよう、使いやすさに配慮されたホームページであること。
- (エ) 専門知識なく、職員が簡単に情報を掲載できるホームページであること。
- (オ) 将来的な拡張性の確保及び柔軟性の高いホームページであること。

5 業務概要

- (ア) CMS・システム・サーバ環境の導入・構築・設定
- (イ) ホームページの構造・運用設計及びデザイン制作
- (ウ) 写真・動画撮影
- (エ) 既存コンテンツの移行
- (オ) 操作・運用マニュアルの提供
- (カ) 操作研修

II リニューアル業務

(1) サイト設計

本業務における設計方針は以下のとおりとし、現行の課題やリニューアルの目的、方針等を勘案し、使いやすさに配慮したサイト設計を行うこと。

- (ア) 利用者にとっての使いやすさを優先し、カテゴリからコンテンツの内容が容易に想像できるように設計を行うこと。
- (イ) 単一のファイル作成で、パソコンやスマートフォン、タブレット端末等、異なるデバイスでの最適表示に対応できること。

(2) デザイン

現行ホームページの課題、リニューアルの目的等を分析し、最適なデザインとすること。

- (ア) ホームページの全体構成、掲載項目の整理、使いやすさ等を考慮すること。
- (イ) ホームページとして、標準化・統一化されたデザインであること。
- (ウ) 日本産業規格「JIS X 8341-3:2016」AA に適合すること。

(3) テンプレートの作成

作成したデザインに基づき、コンテンツ作成・編集等を行うためのテンプレート設計、開発を行うこと。

(4) コンテンツの移行

- (ア) 現行のホームページから新ホームページへのコンテンツ移行は、原則すべて受託者が実施すること。
- (イ) ページに添付されている PDF などのファイル、画像についても移行すること。
- (ウ) コンテンツ移行後、「コンテンツ移行報告書」（任意様式）を作成し、提出すること。
- (エ) 当局の検証において不備が発覚した場合は、受託者にて修正対応すること。

(5) 視覚が弱い利用者への機能

文字を拡大する機能等を付与し、視覚が弱い利用者にも使いやすいものとする。

Ⅲホームページの仕様

ホームページの維持管理を行うための CMS を導入する。

(1) CMS 要件

別途「CMS 要件書」に示す。

(2) システム基本構成

- (ア) 新ホームページのサーバは、現行のサーバから新サーバに更新すること。
- (イ) サーバ類は当局内に置くことはせず、外部センター等において運用すること。
なお、データセンター等は日本国内に所在するものとする。
- (ウ) 現状どおり、大島看護専門学校は独自ドメインを取得し、運用すること。
- (エ) システムのバージョンアップや機能の追加等に対応できる拡張性をもたせること。
- (オ) サーバダウン等トラブルが発生した場合でもサービス停止が生じないような措置を講じること。
- (カ) 構築にあたっては十分なセキュリティ対策を講じること。SSL 暗号化通信に対応させること。なお、SSL の導入手続きについては受託者が責任を持って行うこと。
- (キ) 各施設担当者に編集者 ID を付与し、各施設で編集・更新作業を行えるようにすること。

(3) 動作環境

当局内ネットワークに接続した PC 端末より、WEB ブラウザからの利用を可能とすること。なお、院内ネットワークに接続されているクライアント端末の環境は次のとおりである。

OS Windows10 以降 Web ブラウザ Microsoft Edge 又は Google Chrome

(4) セキュリティ

- (ア) 第三者からのアクセスによるホームページの改ざん等を防止し、安全に考慮して運用できること。
- (イ) 情報漏えい対策が十分にとられていること。
- (ウ) 異常または障害が発見された際には、直ちに当局へ連絡すること。
- (エ) 運用するサーバおよびアプリケーションには脆弱性がないこと。また、OS やアプリケーションにセキュリティホール等脆弱性が発見された場合、早急にセキュリティパッチを適用するなど、追加の費用なしに解消すること。

IV職員支援要件

(1) 操作マニュアルの作成

CMS の操作方法について運用マニュアルおよび操作マニュアルを作成すること。
なお、特別知識を持たない一般職員でも、内容を見ただけで操作ができるよう、わかりやすい表現で記述された操作マニュアルであること。

(2) 職員研修の実施

システム管理、コンテンツ作成について、導入時に職員に操作研修を実施すること。開催時期等については当局との協議の上、柔軟に対応すること。
なお、研修を受ける職員は10人程度であり、実施における会場は当局内とする。

V運用・保守管理業務

運用・保守管理業務の内容は以下を想定している。

(1) 運用・保守管理要件

- (ア) 公開するホームページ及びCMSは24時間365日の稼働を原則とし、ハードウェア障害の早期発見・予防に努めること。
- (イ) システムの安定的運用をはかるため、ソフトウェア、設備、セキュリティに関して定期的な保守管理を行うこと。
- (ウ) ソフトウェアに対して、OS等のパッチ適用、バージョンアップを行うこと。

(2) 障害対応

- (ア) 障害が発生した場合は、当局に迅速に連絡するとともに、直ちに状況の把握を行い、障害箇所の特定、影響の調査、即時対応、現状復帰すること。
- (イ) 稼働診断、定期点検等により障害の予防を行うこと。
- (ウ) 障害対応履歴の集積・分析、障害原因の分析により再発防止を行うこと。

(3) バージョンアップ対応

CMSの性能や品質強化、新たな機能の追加OSやブラウザへの対応等について、契

約の範囲内において対応すること。バージョンアップの対象範囲、実施頻度などについて提案書に明記すること。

(4) 問い合わせ対応

- (ア) 当局からのホームページに関する技術的な問い合わせに対応すること。
- (イ) 問い合わせ時間は原則として、平日（土・日曜、祝日を除く）の午前8時30分から午後5時15分までとする。ただし、緊急時は、当局と協議の上対応すること。
- (ウ) 問い合わせの受付及び回答手段は、電話、ファックス、電子メールとする。ただし、緊急性の高いものについては電話を利用すること。

VI納品

下記の書類等を、紙媒体及び電子媒体により各1部納品すること。それぞれの書類等の納品時期は、当局の指示によるものとする。

- (ア) プロジェクト計画書
- (イ) サイトマップ
- (ウ) ホームページ構造設計書
- (エ) デザイン設計書
- (オ) コンテンツ移行計画書
- (カ) コンテンツ移行報告書
- (キ) CMS 運用・操作マニュアル

VII業務完了報告

受託者は、業務完了後速やかに業務完了報告を行うこと。当局の検査の結果、不備が認められた場合、受託者は可能な限り速やかに不備を解消し、修正した成果物を再度納入すること。

VIIIその他

(1) 委託

受託業者は、デザイン、設計、データ移行、公開、保守など作業工程の一部を別業者に委託する場合には、あらかじめ当局の同意を得るものとし、委託先の行った作業の結果については、受託者が全責任を負うこと。

(2) 守秘義務

個人情報、秘密と指定した事項及び業務の履行に際し知り得た秘密情報を第3者に漏らし、また不当な目的等で利用してはならない。契約終了後も同様とする。

(3) 著作権

本業務により作成された業務の成果物の所有権、著作権及びその他の権利は、当局に帰属するものとする。